

虹の大樹

JAさっぽろコミュニケーションマガジン
「にじのたいじゅ」

2024年
4月号
NO. 306

協同組合という
虹のもと、
大都市に深く
根を張りそびえる
大樹のような
JAで
ありたい――

今月の特集

令和6年度

JAさっぽろ新入職員紹介

19名の
新入職員が
入組しました！

カーネーションの採花作業
Photo by SOGA Takahiro



心を支える かけがえのない一輪に なることを願って みんなが笑顔になりますように

石狩花畔地区組合員 大村喜輝さん

日本には、感謝や愛情を表現するために「花」を贈る文化がある。
誕生日・入学式・卒業式・母の日と様々な場面で、
時には言葉以上に想いを伝えることができる。

帰郷して 花農家の2代目に

例年よりも多くの雪が残る3月、石狩市生振にある『北の花工房 大村花き園』を訪ねると、建ち並ぶビニールハウスの中は一足早い春の気配に包まれていた。

ハウスに足を踏み入れると、桃色・白色・緑色など綺麗な色彩のカーネーションが花開き、言葉では言い尽くせない美がそこにあった。そして、何故かかいているだけで自然と顔がほころんでしまう、何とも言えぬ幸福感を感じた。

「花には心を癒す効果がありますよね。花を取り入れる事で、みなさんの生活が明るく潤いのあるものになってくれると育てた甲斐があります。」そう語ってくれたのが今回お話を伺った大村喜輝さん。

父親の代から花き生産を始め、喜輝さんは長野の大学を卒業後、1年間、長野の花き園で研修し帰郷。昨年経営移譲を受け、大村花き園の代表として生産に携わっている。

父親の喜紀さんはかつて篠路町福移にあった余熱利用施設園芸団地で花きの他、きゅうりやメロンを栽培していたが、団地の解散を受けて生振に拠点を移すこととなった。当時は石狩湾新港建設により米作からの転作が奨励されており、喜紀さんもここ生振で花きの生産に取り組む運びとなった。

美しいと思える花を 消費者に

札幌市のライラック、当別町のユリ、新篠津村のアルストロメリアなど、石狩管内は北海道でも有数の花き生産地であり、大村花き園は北海道でも古くからカーネーションを栽培する農家のひとつだ。

カーネーションだけでも約50品目、ほかにもマトリカリアや



1. 真っ直ぐにきれいに咲くゴーレム。2. 太陽の光を浴びて育つブラテリア。3. 多くの種類の花を管理。4. 採花作業をする母の聖子さん。5. 1本1本丁寧に選花作業。6. 先代から続く大村花き園の出荷箱。7. これから消費者のもとへ届くトニックゴーレム。

花が人の心に 与えるもの

花を贈る日と言えば「母の日」が真っ先に思い浮かぶが、花には年間5回の高需要期があるのだそう。お正月・お盆・春と秋のお彼岸・そして母の日である。

繁忙期には大村さん家族に加えパート従業員12〜13名がフル稼働。全部で23棟あるビニールハウスでカーネーションだけでなく年間60万本以上を生産・出荷する。花は需要がすべてであり、需要に対応した栽培計画が花づくりの基本だと大村さんは話す。「花は野菜や肉などと違って必ずしも生きる上で必要なモノでは無いですが、季節や人生の節目には欠かせない、彩りを与えてくれるものです。みなさんの大事な瞬間に私の育てた花々が立ち会えることが、なにより嬉しいです。」

大村花き園を訪れたのは、ちょうど札幌市内の中学校で卒業式が執り行なわれた日だった。大村さんを始めとする花き生産者が心を込めて育てた花々が、祝福に彩りを添え、卒業生たちのこれからの歩みを鮮やかに照らし、感謝と勇気を与えてくれたに違いない。

そして特別なじゃない普通の日だって、日々伝えきれない「ありがとう」を花とともに伝えたい。そんな気持ちにさせてくれた。

組合員さんの 秘伝の レシピ を紹介します

4月号より始まった新コーナーでは、組合員の皆さんの秘伝のレシピを紹介していきます！第1回目は厚別地区 小林ヨシ子さん、篠路地区 丹羽恵子さんに協力いただきながら、玉ねぎをたっぷり使用した「焼肉のたれ」をご紹介します。お肉・野菜はもちろんのこと、卵かけごはんにも合う！ご飯が進む万能たれです。



丹羽恵子さん(左)と小林ヨシ子さん(右)

小林さんと丹羽さんが17年ぶりに タッグを組んで「焼肉のたれ」を伝授!!



17年ぶりでも
阿吽の呼吸!



小林ヨシ子さんと丹羽恵子さんは、平成7年からさとらんどで食育活動を展開しています。平成12年に講習会の講師に選ばれたことをきっかけに、都市住民に農業を身近に感じ、農業の重要性を理解してもらおうと、メンバー8名で「ACネットワーク」を立ち上げました。平成19年には、小林さんと丹羽さんのお二人が講師となって、さとらんどで「焼肉のたれ」の講習会を開催しました。

AC ネットワークって??

AC は、AGRICULTURE(農業)と CONSUMER(消費者)の頭文字です。農業と消費者のつながり、農業を消費者へ広めるという意味が込められています。

AC ネットワークでは、農産物の付加価値を高めようと、グループメンバーの生産した農産物を生かし、伝統料理や郷土料理のオリジナルレシピを考案しています。また、レシピを活用してもらおうと、グループ内で学習を重ね、講習会を開催したり、消費者交流会や札幌市内の学校・子ども会の農業学習に参加したり、地域に根差した活動を行なっています。

小林さんと丹羽さんは
厚別支店の全職員に
「焼肉のたれ」を
プレゼント
してくれました!

お二人とも、
ありがとう
ございました。



古川ポーく和清茸に「焼肉のたれ」を添えて、厚別支店の方々にも食べていただきました! みなさん美味しいと大絶賛でした。

秘伝レシピ
No.1

玉ねぎたっぷり / 焼肉のたれ (万能たれ)



煮沸消毒したビンに入れ冷蔵保存すると
約6ヶ月間もちます

材料 (1.8リットルのビン3本分)

・玉ねぎ	1kg	・みりん	270cc
・にんじん	400g	・ごま油	270cc
・しょうが	200g	・砂糖	1kg
・りんご	3個	・七味唐辛子	15g
・みそ	1.5kg	・こしょう	15g
・しょう油	1.8リットル		
・にんにく	200g		

作り方

- 1 野菜、リンゴ、にんにくを粗く刻んでしょう油を加えながら、ミキサーにかける。
- 2 みそに1を加え液状にする。
- 3 鍋に2とAを入れて、ひと煮立ちさせ、冷めたら容器に入れ保存する。



切り分けた
野菜はミキサーに



大きな鍋で焦げない
ようにするのがポイント

青年部事業のこれからについて考える 青年部員と常勤役員との懇談会を開催しました

3月6日(水)、JAさっぽろ青年部(大畑一郎部長)では本部役員15名と同JA常勤役員7名が参加し懇談会を4年ぶりに開催しました。

この懇談会では、青年部とJA役員が互いの取り組みなどについて直接意見を交換。

「札幌近郊の農畜産物をさらにPRできることは何か」などといった、農業の活性化につながる企画や活動について話し合われました。

これまでに青年部は札幌の誇りを持って活動するという想いを部員同士が共有できるように「SAPPRO PRIDE」のオリジナルロゴマークを製作。ロゴが刻まれたそろいのTシャツを着て「さっぽろオータムフェスト」で札幌近郊の農畜産物を販売、奥芝商店や東急百貨店を含む各企業とのブランディングなど活発なPR活動を行なってきましたが、次年度はより一層地産地消に拘りたいとの想いから議題に上がりました。

同青年部大畑一郎部長は、「青年部活動を通じて多くの人の記憶に残るように農や食の力で感動を届けていきたい」と話し、同JAの軽部幹夫組合長は「青年部の意見をJA事業に反映し、農業の活性化につなげたい」と応えました。

懇談会終了後は懇親会を開催し、懇談会では話しきれなかった意見や今後の青年部事業について歓談し、青年部員の熱き想いが詰まった素敵な空間となりました。



青年部事業の拡大に向け、青年部の想いを伝えました

JAさっぽろ豊平支部・北札幌支部・篠路支部
学校法人 八紘学園 北海道農業専門学校

3 地区合同研修会を初開催しました

青年部豊平支部(桑島誠支部長)・北札幌支部(坂東拓也支部長)・篠路支部(武田慈喜支部長)では、2月16日(金)に部員14名が参加し初となる合同研修会を開催しました。

この研修は、3支部の青年部員と将来農家を目指す学校法人 八紘学園 北海道農業専門学校(1・2年生約40名)との交流を目的とし、(株)穴太HLDの講演の他、グループディスカッションを実施。グループディスカッションでは、3グループに分かれて青年部員が、就農までの道筋や農業のやりがいなどを伝えたほか、生徒からの多くの質問にプロの目線で応えました。研修会後は、3支部で懇親会を行ない、各支部の活動・生産状況はもちろんのことプライベートの話にも花が咲き、初開催となる八紘学園との合同研修会は実りある豊かな時間となりました。

今回の企画を立案した、同校卒業生である武田支部長は「農業を目指す若い世代や各支部の部員と交流することは大きな刺激になります。共に支え合いながら、仲間として農業を盛り上げていきたいです」と話しました。



生徒たちと一緒に輪になってグループディスカッションを実施しました



これからも引き続き3支部が連携することを約束し記念撮影を行いました

JAさっぽろ女性部厚別支部

通常総会を華やかに開催しました

女性部厚別支部（小林徳子支部長）では、部員53名が参加し、厚別支店3階にて女性部厚別支部第69回通常総会を開催しました。

会場には、部員の皆さんの手作品の展示や令和5年度の行事写真、生花サークルの皆さんによる生け花、そして議場にもお花を飾っていただき会場は彩り鮮やかで華やかなものとなりました。

総会ではすべての議案が可決承認され滞りなく進み、昼食のあと茶道サークルの皆さんにお茶を振舞っていただきました。その後には、4年ぶりの演芸大会も行なわれ、ハンドベルサークル「虹の会」の皆さんの素敵な演奏をはじめ、合計7組（統括支店長・事務局も参加させていただきました）による踊りやカラオケで会場を沸かせました。

小林徳子支部長は、「総会に53名もの出席をいただき、演芸大会も4年ぶりに開催でき部員の皆さんの笑顔を見て大変嬉しく思います」と充実した時間を過ごしました。

（北林特派員）



久しぶりに部員の皆さんが一堂に会して総会を開くことができました



ハンドベルサークルの皆さん1人1人のベルが一つになり調和した音楽を奏でました



色とりどりの花々と部員の皆さんが持ち寄った手作り品が会場をにぎやかに盛り上げました

第2回 JAさっぽろ北大公開講座

北大キャンパスで酪農について考える

3月2日（土）、北海道大学農学部講義室を会場に令和5年度第2回 JAさっぽろ北大公開講座（共催：北海道大学大学院農学研究科 地域連携経済学研究室）を開催しました。

組合員・職員合わせて26名が受講した第2回講座は、「北海道酪農の未来を考える」をテーマに第1回講座に続き北海道大学大学院農学研究科の小林国之准教授に解説していただきました。

酪農危機が叫ばれている今、北海道酪農の危機とは何かを農業経済学的視点から解説するこの講座では、「経営的には十分ではない乳価と価格上昇に伴う需要への影響」など、牛乳・乳製品を値上げすれば消費の減退に繋がり兼ねない難しい状況もあることについても説明され、受講者からは「酪農は北海道の大事な産業であり、その実態を知ることができた」、「牛乳・乳製品の消費で酪農家を応援したい」といった声が寄せられました。

JAさっぽろでは、組合員の皆さんが農業や食料、農協を取り巻く環境などについての学びを深めることができる機会を提供したいと考えています。

次回講座の日程等が決まりましたら、本誌などでご案内いたしますので、多くの皆さんのご参加をお待ちしております。



小林准教授には、「北海道酪農の歴史」や「生乳流通の仕組み」などについてわかりやすく解説していただきました



SDG12
つくる責任
つかう責任



SDG4
質の高い教育
をみんなに

入居者に人気の設備 最新ランキング

賃貸物件の空室対策について、空室を生まないことと空室が発生したらすぐに次の入居者を見つけることが非常に重要となってきますが、どちらも入居者の求めている設備が物件に備わっていることがポイントとなります。近年、部屋探しの顧客が求める設備には「インターネット無料」「高速インターネット

ト」「宅配ボックス」「エアコン」などがあります。

今回は、「付加価値設備のランキング」と「必須設備のランキング」について、単身者向けとファミリー向けをご紹介します。これらの設備設置をご検討の際は、各支店相談課までご相談下さい。

付加価値設備のランキング TOP 10

前回順位	単身者向け	順位	ファミリー向け	前回順位
前回 1 位 →	インターネット無料	第 1 位	インターネット無料	前回 1 位 →
前回 2 位 →	エントランスのオートロック	第 2 位	エントランスのオートロック	前回 3 位 →
前回 3 位 →	高速インターネット (1Gbps 以上)	第 3 位	追い焚き機能	前回 2 位 →
前回 4 位 →	宅配ボックス	第 4 位	システムキッチン	前回 5 位 →
前回 5 位 →	浴室換気乾燥機	第 5 位	宅配ボックス	前回 6 位 →
前回 6 位 →	独立洗面台	第 6 位	高速インターネット (1Gbps 以上)	前回 4 位 →
前回 7 位 →	システムキッチン	第 7 位	浴室換気乾燥機	前回 7 位 →
前回 7 位 →	防犯カメラ	第 8 位	24 時間利用可能ごみ置き場	前回 10 位 →
前回 7 位 →	24 時間利用可能ごみ置き場	第 9 位	ウォークインクローゼット	前回 12 位 →
前回 12 位 →	ウォークインクローゼット	第 10 位	ガレージ	前回 7 位 →

必須設備のランキング TOP 10

前回順位	単身者向け	順位	ファミリー向け	前回順位
新設 —	エアコン	第 1 位	エアコン	新設 —
前回 2 位 →	TV モニター付きインターホン	第 2 位	室内洗濯機置き場	前回 2 位 →
前回 1 位 →	室内洗濯機置き場	第 3 位	TV モニター付きインターホン	前回 3 位 →
前回 3 位 →	インターネット無料	第 4 位	独立洗面台	前回 4 位 →
前回 4 位 →	温水洗浄便座	第 5 位	追い焚き機能	前回 1 位 →
前回 5 位 →	独立洗面台	第 6 位	温水洗浄便座	前回 5 位 →
前回 8 位 →	宅配ボックス	第 7 位	インターネット無料	前回 6 位 →
前回 6 位 →	エントランスのオートロック	第 8 位	システムキッチン	前回 7 位 →
前回 7 位 →	備え付け照明	第 9 位	エントランスのオートロック	前回 9 位 →
前回 9 位 →	高速インターネット (1Gbps 以上)	第 10 位	ガスコンロ (二口/三口)	前回 8 位 →

今回の記事は、全国賃貸住宅新聞の Web サイト等より抜粋し作成しております。詳細につきましては、関連の Web サイト等でご確認くださいようお願い致します。
相談部では、今後も組合員の皆様のお役に立つ情報の発信を続けていきます。



理事会だより

第11回定例理事会

令和6年2月28日(水)午後1時00分より本店役員会議室において第11回定例理事会が開催された。

●監事会報告事項

1、令和5年度 下期随時監査報告

●協議事項

1、令和6年度 内部監査等実施計画(案)について

令和6年度実施予定の内部監査計画概要について説明され、可決決定。

2、第5次中期3カ年経営計画 令和6年度本店行動計画の策定について

令和6年度における本店行動計画内容について、重点施策、実施項目、具体的取組等を中心に説明され、協議後、可決決定。

3、令和6年度 事業計画(文書編・数値編について)

令和6年度の経営管理方針、各部門の事業方針、実施方策、事業量取扱高計画、事業収支計画が詳細に説明され、可決決定。

4、『就業規程』の一部改正について

令和5年5月の労働基準法の改正を受け、

令和6年4月以降に義務付けられる書面交付に係る所要の改正である内容が説明され、可決決定。

5、『準職員就業規程』の一部改正について

令和5年5月の労働基準法の改正を受け、令和6年4月以降に義務付けられる有期労働契約の契約時や更新時の手続き変更、及び雇用契約書に係る所要の改正である旨が説明され、協議後、可決決定。

6、『給与規程』の一部改正について

労働組合からの給与改善要求、更には近年の物価高騰や中途退職者の抑制対策等、職員の労働条件改善を考慮し、役割給の見直しを実施する旨が説明され、可決決定。

7、経済部・営農販売部の新体制について
(『職制規程(別表1)機構図』の一部改正含む)

旧JAさっぽろにおける経済部の合理化実施後の現体制の課題と新体制の在り方、また新体制の機構図、業務内容等の内容が説明され、協議後、可決決定。

●報告事項

1、常勤理事と監事との意見交換について

2、常勤役員と女性部本部役員との懇談会結果報告

3、令和6年度 役員員研修計画について

4、石狩地区 生産者説明会結果報告

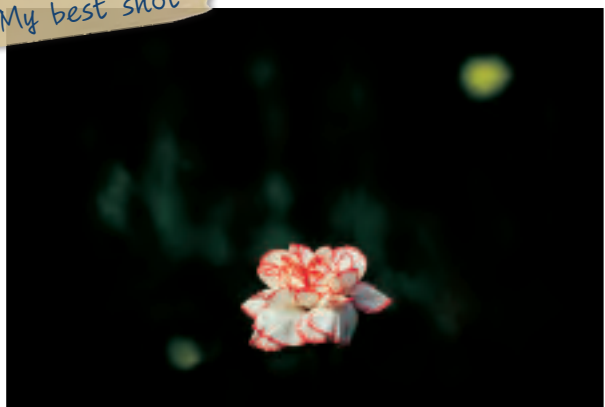
5、1月末財務状況報告

6、1月末組合員加入、脱退状況報告
7、2月の動静と3月の予定について

(閉会・午後3時40分)

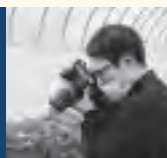
			令和6年2月末業務実績	令和6年1月末業務実績
JAさっぽろ DATA	組合員数	正組合員	3,821名	3,840名
		准組合員	34,650名	34,696名
	合 計		38,471名	38,536名
	出資金残高		75億8千4百万円	75億6千5百万円
	販売取扱高		29億3千4百万円	27億8千8百万円
	購買供給高		15億4千4百万円	13億4千万円
	貯金残高		3,712億9千1百万円	3,696億9千9百万円
	融資残高		1,039億9千5百万円	1,038億3千6百万円
	共済保有高		6,381億7千7百万円	6,393億2千1百万円
	施設建設取扱高		2億3千3百万円	2億3千3百万円
	管理受託戸数		4,802戸	4,782戸

Column
My best shot



カーネーションには沢山の種類があるそうで、僕が一番惹かれた花の種類の写真です。佇まい美しい。

Photo by 曾我 孝博
2020 年からフリーランスの
フォトグラファーとして主に札幌
市内で活動。今年度も引き
続き「虹の大樹」表紙と巻頭
写真の撮影を担当します。



札幌黄
たまねぎスープは
いかがですか
料理の味付け
にも使える!



各支店窓口で、
お買い求めいただけます!

1箱(4袋入り) 360円(税込)
※品切れの場合はご容赦ください。